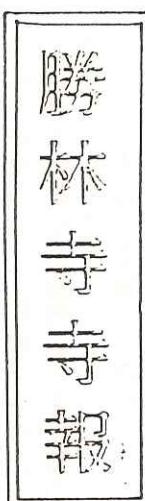
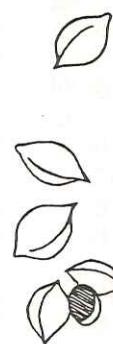


サイレント・ベビー



最近、小児科——赤ちゃんの病院の待合室が大変静かになったと申します。

赤ちゃんの集まる小児科の待合室は、本来、ギーギー、ベーベー。それにお母さんたちの叫ぶ声もまじって、大変にぎやかなのが相場なはずです。それが最近静かになってしまったとい

うのです。赤ちゃんもあまり泣いたり叫んだりしない。お母さんも、赤ちゃんが多少なにかを訴えても黙つて静かにしているだけ。とにかく、泣いたりわめいたり訴えたたり、そんなことを殆どしなくなった赤ちゃんのことを見たことがあります。無声映画ならぬ無声赤ちゃんです。

なぜこんなサイレント・ベビーなどというものができたのでしょうか。それは、生まれたそのときから、お母さんとの間にことばのやりとりが極端に少なくなっているからだといいます。

たいで、核家族で、おとしよりはいませんから、何も彼も全部一人でやらなければなりません。ですから子育ても、多少お金がかからず合理的に、余分なことはなるべく省いてやらなければなりません。

たとえば紙おむつ。

一日十回以上もかえなくともよいのです。面倒でなくしかも清潔です。すべて今の赤ちゃんはそういう具合に育てられているようです。お金はかかるでもなるべく手抜きができる育児。

これはしかし、とても合理的で賢い子育てのようにみえますが、だいいち大事な親と子との交流、ことばの交わし合いをそれだけ少なくしてしまっているのです。おしめを変えるたびに親と子とはことばをかけあいました。それが便利になつたぶんだけ少なくなつてしまつているのです。しまいには紙おむつを変えるときにさえも、今のお母さんは、何ものも言わずに黙々とかえている姿を見て驚きます。

このまま大きくなると、親に対してさえも「あんたなんか関係ない」と言い放つ、そんな子供や大人に育つてしまふと思うと空おそろしくなります。

あなたのおうちではいかがでしょうか。南無阿弥陀仏のお念仏は、親のよぶこえ、子の叫ぶこえ。南無阿弥陀仏のおよびごえのなかに、呼ばれよばれてお育ていただいているし、あわせを、今日も心に過ごさせていただきましょう。

出石組・御同朋大会

十月のことよみ

昨年九月、出石組で御同朋総結集大会が開かれました。今年十一月七日、神戸のポートピア記念ホールで開かれる兵庫教区御同朋総結集大会には、教区内三九組から七千人が集まります。

「御同朋結集大会」とは。

蓮如上人のお言葉、「つねづね寄り合つて談合しなさい。」いうのは、たとえば五人いると、五人とも、めいめい自分に都合のよいよようちに聞き取つてしまつてゐるものです。ですからつねに寄り合つて談合（話し合い）することが大切なのです」（三代聞書）

僧侶・総代会・仏事・仏婦・連研終了生・坊守さん。それぞれがそれぞれの立場で聞いていることとしていることを、寄り合つて話し合つたり深めたりたどりあつたりしていこうというのが、つまりこの大会のねらいです。

この大会のねらいからして、一年に一回は、出石組では大会をしようということになりました。

今年はとりあえず次の日程で行います。
ご参加下さい。
午前中 十月九日
午後 「門信徒同朋講座」
「布教大会」
「教化団体協議会」
「聖歌合唱団の会」
(後日別にご案内します)

葬儀

九月二十五日 野尻

衣川

喜市

様

一日	十六夜会評議員会 (本覚寺)
二日	研修読本編集委員会 (神戸)
三日	結集大会行事部会 (神戸)
四日	玉日会報恩講 (正福寺)
五日	中央実習講義 (大谷本廟)
六日	住職寺族同朋講座 (正福寺)
七日	大石正和氏法事
八日	出石組・社和集大會
九日	同朋講座・布教大会
十日	結集大会・聖歌発表会
十一日	真覚寺報恩講
十二日	別修報恩講準備
十三日	別修却報恩講
十四日	同じ
十五日	別修報恩講 (勝林寺)
十六日	吹田淨念寺報恩講
十七日	善立寺報恩講
十八日	明元寺報恩講
十九日	近畿仏婦大会 (押波山)
二十日	明元寺報恩講
二十一日	善立寺報恩講
二十二日	西宗寺報恩講
二十三日	高福寺法事
二十四日	明元寺報恩講
二十五日	教区総合企画室会議
二十六日	みのりを聞く会
二十七日	西善寺永代経 (備前市)
二十八日	本覚寺報恩講
二十九日	湯口昇司氏法事
三十日	衣川忠良氏宅納骨法要
同日	備後教区ご巡教随行

